



Recommendations for the re-opening of dental services: a rapid review of international sources

6 May 2020

COVID-19 Dental Services Evidence Review (CoDER) Working Group

Version 1.1 – updated 7th May 2020

諸外国で中断していた歯科治療の再開にむけての指針等に対するコクランのrapid review

2020年5月6日に、Cochrane Oral Healthから歯科診療再開に向けてRapid review (迅速レビュー) が発表されたので以下に紹介します。

概要:

Cochrane Oral HealthとCOVID-19 Dental Services Evidence Review (CoDER) Working Groupは、歯科診療再開のための要件について、最近作成されたガイダンスと国際機関や専門団体からの勧告を含む報告の迅速なレビューを行った。その結果、11カ国から提示された計12件の文書を認め、①診療準備と患者への配慮、②診療従事者用PPE、③診療室の管理、④処置内容、⑤術後の洗浄・消毒・廃棄物管理の5項目について、以下の内容(抜粋)が示された。

- 電話による患者のトリアージ*を推奨する。一部には、受付時の体温スクリーニングを推奨するものもある。
- 可能であれば、エアロゾル発生行為(AGP)の回避を推奨する。
- COVID-19および非COVID-19のいずれの症例についても、AGPの有無にかかわらず、フィルタリング・フェイスピースクラス[†]2(FFP2、N95に相当)マスクの着用を推奨する。
- 一部には、AGPに対してフィルタリング・フェイスピース・クラス3(FFP3、N99相当)マスクの着用を推奨するものもある。
- 感染リスクを低減するために、術前洗口剤、大量吸引、ラバーダム、PPEの使用を推奨する。
- スタッフ・患者・一般市民に対して感染リスクを最小限にする必要性と共に、質の高い歯科臨床ケアもまた不可欠であることを強調する。
- エアロゾル発生によるリスクを減少させるため、PPEの適切な使用(着用および脱衣を含む)とAGP、エアロゾルの発生を減らすための対策の3者の関わりを考慮する必要がある。
- 患者の予約設定や実践実務手順への影響を含め、効果的な洗浄・消毒プロセスを明確にする必要がある。

* トリアージ; 患者の症状に基づき、治療の優先、選別すること。

† フィルタリング・フェイスピース(FFP)クラス; 呼吸器防護器具の3段階基準

コメント:

本レビューの歯科診療再開はCOVID-19蔓延前の診療水準での再開を意味しておらず、制限的な歯科診療を推奨している。エアロゾル発生を伴う行為には依然慎重な対応が必要となる。また、各国ガイダンスや勧告を比較検討しているため、内容が個人の歯科医療従事者向けというよりも政策決定者寄りである。迅速なレビューという制約があり、検証された報告の根拠となる証拠は少ない。今後、新たな情報により内容が変更される可能性がある。

なお、この勧告は、日本とは異なる諸外国の流行状況や社会保障制度に基づくものであり、国民皆保険制度で国民がほぼすべての歯科医療を等しく享受できる日本の歯科医療においてそのまま適用することを目的に紹介するものではないことを申し添える。

原書:

<https://oralhealth.cochrane.org/news/recommendations-re-opening-dental-services-rapid-review-international-sources>